

# 教職支援室便り (5月号)

令和2年 5月 8日 (金)

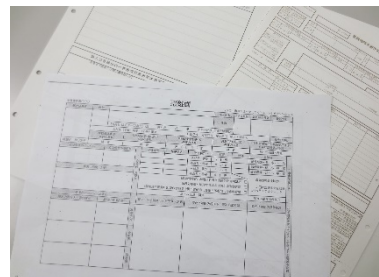
文責：教職支援室 曾我文敏

☎0985-20-4808

## 教員採用試験願書作成に思うこと

教員採用試験の願書作成が始まっています。願書作成においては、次のことをおさえる必要があります。

- ◇ 願書は、申込書ではない。
- ◇ 願書は、受験者の人柄を表すものである。
- ◇ 願書を提出した日から、採用試験が始まる。
- ◇ 願書は、面接試験等に活用される。
- ◇ 願書は、受験者の印象を左右する。



このように、願書は、採用試験において極めて重要なものです。教職に対する思いが、誠実に表現されている願書は、見る（読む）人の心を打つものです。

本年度の宮崎県教員採用試験願書の中には、次の4つの観点で自己表現する箇所があります。

- 1 宮崎県の教員を志望した理由について書いてください。
- 2 特筆したい活動歴と実績について書いてください。
- 3 特技・趣味・研究記録等を生かして取り組みたい教育活動があれば、具体的に書いてください。
- 4 コミュニケーションを図るために、普段から心がけていることを書いてください。

受験する学生の皆さんには、願書作成において、自分の教職への熱意、活動歴、長所、特技、資格、研究実績、コミュニケーション力などの自分の良さを、最大限表現してほしいと思います。

**表現例・特筆したい活動歴と実績について書いてください。**

私は中学校時代、短距離走の選手として陸上競技に打ち込みました。苦しい練習に耐え、地区の予選を勝ち抜き〇〇大会の代表になれたことは、精神的な成長につながりました。また、これまで中学校において、英語科授業のサポート活動や英検面接指導などボランティア活動にも積極的に取り組んできました。これらの活動を通して、子どもたちのニーズを踏まえながら、可能な限り支援することの難しさや楽しさを体感できたことは、教員志望への強い思いを更に喚起しました。

**表現例・特技・趣味・研究記録等を生かして取り組みたい教育活動があれば具体的に書いてください。**

私は運動が大好きです。小学校から水泳が得意でしたが、中学校ではソフトテニス部、高等学校ではハンドボール部で活動しました。小学校においては、水泳指導などを中心に、体育科授業の充実に取り組みたいです。また、大学では「コミュニケーション力（傾聴）」について研究しました。子どもたちのコミュニケーション力を向上させるために、昼休み時間の遊びを工夫したいです。更には、司書教諭資格を生かしての読書指導や、防災士資格を生かしての防災指導に尽力します。

## 宮崎市立大宮中学校から感謝状

### 学校支援ボランティアの学生の皆さんへ

3月23日（月）、学校支援ボランティア活動に尽力した学生の皆さんに、大宮中学校から、感謝状が届きました。本年度大宮中学校については、3年生6名、4年生1名、計7名の皆さんがボランティア活動に参加しました。（今回は、大学で授与式を行いました。当日は、3名の参加。）



この活動においては、3年生は6月下旬から週1コマ、4年生は10月下旬から週1日、英語科授業の補助やその他の教育活動の支援に取り組みました。大宮中学校の先生方からは、「いつも誠実な態度で、生徒に接していただいた。」などの高い評価をいただきました。

また、この活動の目的は、「①～教員志望の学生の皆さんが、学校での教育指導などを体験することにより、教職への更なる理解を深め、ひいては教壇に立つ自覚と自信がもてるようにする。②～3年生の段階で英語科の授業補助等を体験することにより、4年生での教育実習の更なる充実が図られるようにする。」ですが、学生の皆さんの今後に、大いに生かされるものとなりました。学生の皆さんに対し、いつも温かくご指導いただきました先生方には、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### ◇◇◇◇◇◇ 昨年度・学校現場体験活動実績 ◇◇◇◇◇◇

- 宮崎市立大宮中学校・・・「英語科授業補助」「その他の教育活動の補助」  
4年生1名、3年生6名
- 宮崎市立宮崎東中学校・・・「英語科授業補助」  
3年生5名
- 宮崎市立宮崎西中学校・・・「英語科授業補助」「英語科検定試験面接支援」  
4年生8名、3年生6名、2年生3名
- スクールトライアル事業・「教員業務参観」  
2年生14名

## 東京アカデミー第3回全国公開模試終わる

東京アカデミー第3回公開模試が、4月21日（火）に行われました。本学では、採用試験までに1月と4月の2回実施していますが、教職教養、一般教養、専門教養の模試を通して、希望する自治体の難易度等を把握することが目的です。

教員採用試験まであと2か月となり、受験する学生の皆さんも様々な思いをもちながら、試験対策に取り組んでいることでしょう。この時点で大切なことは、受験する自治体の試験内容を精査すること、筆記試験における自己課題を明確にすること、希望する自治体の複数年の過去問等に取り組むことなどがあげられます。

採用試験までの残された時間を有効に活用できるよう、担当者としても適時、適切な支援に取り組んでいきたいと思っております。

公開模試を受験しての感想を、次頁に紹介します。

- 教職教養は、少しずつ頭に入ってきて問題が解けるようになってきた。これから、更に確実に問題が解けるようになりたい。専門教養については、自分の課題として集中的に取り組みたい。
- 前回よりも、わかる問題も多くなっていた。毎日の勉強は、役に立っていると感じた。しかし、更に勉強して、試験当日自信をもって臨めるようにしたい。
- 今まで勉強した問題が出たり、わかる問題が増えたりして、できるようになってきたという実感が湧いてきた。しかし、確実に問題が解けるように、細かく深く勉強していかなければと思った。自分が受験する自治体を意識しながら、もっと勉強に励みたい。

## 道徳の教科化に思う！（シリーズ36）

平成29年の6月号から、「道徳の教科化に思う」をテーマに、道徳授業の本質的な在り方等について掲載しています。今回は、その36として「道徳の教科化に伴う指導と評価の在り方・その1」についての資料です。

### ◇1 「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について

～道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議報告（平成28年7月）～

#### 【道徳科の評価の在り方】

- ・ 数値による評価ではなく、記述式とする。
- ・ 個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価とする。
- ・ 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。
- ・ 学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視する。
- ・ 道徳科の学習活動における児童生徒の取組状況を、一定のまとまりの中で見て取る。
  - ※ 道徳科の特質に係る要素であり、評価項目については、上記内容が基本となる。特に、「多面的・多角的な見方」、「自分自身との関わり」に係る指導者の理解が求められる。
  - ※ 道徳科の特質を踏まえた授業でなければ、評価ができないと言える。
  - ※ 道徳性を評価するのではない。

### ◇2 道徳科の特質と評価

- ・ 道徳科の特質は、評価の拠り所である。

#### 【道徳科の特質】・・・資料「道徳科の学習活動」（後述参照）

- 道徳的諸価値について理解する。（価値理解、人間理解、他者理解）
- 自己を見つめる。（自己理解・道徳的価値を自分との関わりの中で考える。）
- 物事を多面的・多角的に考える。
- 自己の生き方についての考えを深める。（内面的自覚）
- 内面的資質としての道徳性を主体的に養う。
- ・ 道徳科の学習構想に係る理解が求められる。

※ 道徳科に対する認識と授業改善を促すために、道徳科における「評価」が行われるとも言える。

#### ◇3 視点を設定しての評価

- ・道徳科の特質を踏まえた評価の視点を設定する。
  - ①学習状況はどうか。
  - ②多面的・多角的な見方へと発展しているか。
  - ③道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。
  - ④道徳性に係る成長の様子はどうか（自己の生き方についての考えを深めているか）。
- ・「多面的・多角的な見方」、「自分自身との関わり」についての理解が求められる。

##### 【物事を多面的・多角的に考えること】

多様な価値観の存在を前提に、物事を一面的に捉えるのではなく、様々な観点から、多様な感じ方や考え方によって学び考えることにより、道徳的価値のよさや意義、困難さ、多様さなどを理解すること。

##### 【道徳的価値を自分との関わりの中で考えること】

登場人物の立場に立って自分自身の問題として受け止め、切実感をもち自分のこととして（自分との関係で）考えたり感じたりすることにより、これまでの自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らしながら、更に考えを深めること。

- ・評価するための発問や活動等を計画する。書く活動を効果的に取り入れる。

※ 道徳科の特質を踏まえ、その視点を満たす授業実践が求められる。

#### ◇4 質の高い道徳授業と評価

- ・道徳科の特質を踏まえた授業は、評価の拠り所である。
- ・読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習など、質の高い授業実践が求められている。
- ・教師が確かな指導観をもち、授業の「ねらい」を理解することが重要である。

#### ◇5 「読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習」の在り方

##### 1 自我関与とは

- 自分との関わりの中で、登場人物の心情を共有すること。
- 登場人物を、自分と関わりが深い者として捉えること。
- 自分と登場人物を、一体化して感じること。
- 登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えること。

##### 2 授業づくりのポイント

###### 大前提

読み物教材を解く3つのポイントを明確にする。

- ◎ 人には価値観の違いがあるが、皆、人間としての強さと弱さがあることを踏まえ、次の観点に留意して、読み物教材を分析する。

##### ① 人間の弱さの理解・・・人間理解

道徳的価値は大切であっても、なかなか実現することができない人間の弱さを理解する。

- ② 人間の強さの理解・・・価値理解  
道徳的価値を、人としてよりよく生きる上で大切なことであると理解する。
- ③ 価値観の多様性の理解・・・他者理解  
人間の強さ、弱さの中には多様性があることを理解する。

※資料「道徳科の学習活動」

